

| 基本理念 | 基本目標 | 分野 | 福祉課題 | 福祉課題の実情 | 具体的な取り組み（条件づくり） | 校区社協としての取組 |
|----------------------------------|------------------------------------|--------------------|---|--|--|--|
| <p>やさえ愛、まもり愛、安心して暮らせる 河内</p> | <p>子どもから高齢者まで共に支え合い、安心して暮らせるまち</p> | <p>高齢者</p> | <p>高齢者の孤立、見守り等</p> | <ul style="list-style-type: none"> 高齢世帯や一人暮らしの方が増加している 高齢者の孤立化防止対策の検討が必要 独居、老老世帯への見守り体制が不十分（日中独居など） | <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の見守りや声かけ等の必要性を啓発し、住民一人一人の自覚を促す 近隣の方々及び民生委員による日頃からの声かけを推進する 自治会や民児協、ささえりあ、介護サービス事業所と連携したネットワークの充実を図る | <ul style="list-style-type: none"> 日頃からの見守り、声かけの推進 集いの場、イベントの開催 関係団体や関係機関と連携したネットワークや支援体制づくり |
| | | | <p>生活支援（移送、買い物、宅配など）</p> | <ul style="list-style-type: none"> 交通手段がなく、買い物に困っている方がいる | <ul style="list-style-type: none"> 移動販売車によるルートの検討（各家の近くで買い物ができるように） 配達可能な店舗を確認し、周知する | <ul style="list-style-type: none"> 移動販売車のルートの検討 配達可能な店舗の確認と周知 |
| | | | <p>体力維持及び予防</p> | <ul style="list-style-type: none"> 体力維持のために農作業等を活かさないか 予防意識が低い（状態が悪くなってからの相談がある） | <ul style="list-style-type: none"> 集いの場を開催し、健康づくりや住民の寄り合いの場を提供する 運動や栄養など、保健子ども課の協力を得て、若い世代からの健康づくりのネットワークづくりを進める（各団体との連携） 特定健診受診を促進する | <ul style="list-style-type: none"> 特定健診受診の促進 認知症サポート養成講座や徘徊模擬訓練の開催 |
| | | | <p>認知症高齢者への理解と支援体制</p> | <ul style="list-style-type: none"> 認知症高齢者への正しい理解が必要 認知症高齢者への支援体制が不十分 | <ul style="list-style-type: none"> 認知症サポート養成講座や徘徊模擬訓練を開催する 認知症介護家族の相談の場をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 認知症介護家族の相談の場をつくる |
| | | <p>障がい児・者</p> | <p>障がい児・者に対する理解と支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> 障がい児・者に対する正しい理解が必要 障がいなどで生活の困りごとがあっても助けを求めにくい 障害サービスや仕事など、社会資源が限られているため選択肢が少ない | <ul style="list-style-type: none"> 障がいに対して正しい理解が持てる研修会等を開催する 困りごとに対する相談会を開催する 地域のイベント等で障がいについて啓発する機会をつくる 他の地区でも利用できるサービスなどを紹介する | <ul style="list-style-type: none"> 障がいに関する研修会の開催 相談会の開催 障がいについて啓発する機会づくり 他の地区でも利用できるサービス等の紹介 |
| | <p>子どもの子育て</p> | <p>集まりの場と世代間交流</p> | <ul style="list-style-type: none"> 子どもたちが安全に遊べる場所、公園がない 相談、集まりの場が少ない 講演会などの回数、参加者が少なく世代間の交流がない | <ul style="list-style-type: none"> 新たな居場所づくりを検討する 熊本市のLINEや子育て情報の活用を促す 相談場所の一覧を作成し、回覧する 関係機関と連携した子育てサロンやイベントを開催し、交流の機会をつくる | <ul style="list-style-type: none"> 新たな居場所づくりの検討 熊本市のLINEや子育て情報の活用 | |
| | | <p>家庭状況の把握</p> | <ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯、各家庭の情報や状況の把握ができていない 母子（父子）家庭の方に何をアドバイスしていいのかわからない | <ul style="list-style-type: none"> 町内会で子育て世帯の調査を行なうと共に日頃からの挨拶、声かけを行なう 保育園、小、中学校との連携を強化する | <ul style="list-style-type: none"> 相談場所一覧の作成と回覧 関係機関と連携したイベントの開催 | |
| | | <p>子育てサークルの周知</p> | <ul style="list-style-type: none"> 子育てサークルの存在が知られているのかわからない、参加者が少ない | <ul style="list-style-type: none"> 西区ホームページ、河内だよりにて広報する LINEを活用して情報を発信する 親子が訪れそうな場所へチラシを掲示する | <ul style="list-style-type: none"> 西区ホームページ、河内だより、LINE等を活用した情報発信と広報 | |
| | | <p>安全と健康</p> | <ul style="list-style-type: none"> 登下校時の児童の安全確保が必要 むし歯の子供が多い | <ul style="list-style-type: none"> 町内での声かけと見守りを行なう 8020推進委員を通し、むし歯予防に取り組む | <ul style="list-style-type: none"> 8020推進員と連携したむし歯予防 | |

| 基本理念 | 基本目標 | 分野 | 福祉課題 | 福祉課題の実情 | 具体的な取り組み（条件づくり） | 校区社協としての取組 |
|--|--|---|---|---|--|---|
| <p style="text-align: center;">ささえ愛、まもり愛、安心して暮らせる 河内</p> | <p style="text-align: center;">災害に備え、助けあう体制づくり</p> | <p style="text-align: center;">災害・防災</p> | <p>避難時の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> 防災無線の放送が聞こえる場所と聞こえない場所がある 避難時にどこの避難所に行けばいいのかわからない 住んでいるところは川、山、崖に近い地区があり、それぞれ災害の避難の対応が必要 | <ul style="list-style-type: none"> テレビ、ラジオ、スマホなど情報収集の手段を多く備えておくよう呼びかける 防災無線をすべての地域で聞こえるようにする 小さい範囲での避難所と避難ルートを作成する 避難場所の周知を徹底する ハザードマップを活用し、注意を呼びかける（11町内中2町内が作成済み） 防災に関する出前講座等を開催する 各災害の種類に応じた対応を予め想定して具体的に話し合う機会をつくる | <ul style="list-style-type: none"> （自治会連合会との連携） 情報収集の手段についての呼びかけ 防災無線の点検調査 避難所と避難ルートの作成 避難場所の周知徹底 |
| | | | <p>避難支援時の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> 自治会長は災害時に避難所に詰めるので、動くことが難しい 足の不自由な高齢者が多く、避難時の移動が大変である 新型コロナが怖いから避難しないという高齢者が多い 災害発生時に自治会、他の関係団体との連携がとれていない | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者の情報を地域で共有する マイタイムラインや避難計画を一人一人立てておくよう促す 隣保班で協力できるようにする 日頃から高齢者、一人暮らし等への声かけ、理解、確認などでスムーズな支援につなげる 垂直避難など避難の方法を検討する 早期避難を呼びかける 災害時の連絡網を作成する 自治会、各種団体の日頃からの連携を進める | <ul style="list-style-type: none"> ハザードマップの活用 防災に関する出前講座等の開催 災害の対応についての座談会の開催 要援護者名簿の活用促進 マイタイムラインや避難計画作成の促進 |
| | | | <p>避難場所の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> 避難所が遠く、台風等の時に避難しない人がいる 自主防災クラブの活動が止まっている 身近な避難所の確保が必要 | <ul style="list-style-type: none"> 緊急時の駐車場の確保のため、日頃からの備えを呼びかける ホテルや知人宅、自宅が危険でなければ自宅避難の可能性も視野に入れて非常食等の備えを十分に行なうよう周知する 自主防災クラブの活動を見直し、各自治会の意見交換会を開催する 各町内で避難計画の作成や、河内公民館や中学校への避難もスムーズにできるよう自治会と連携する 車での避難は近隣で誘い合って移動する 行政や関係機関との情報共有 | <ul style="list-style-type: none"> 近隣での避難時の協力体制づくり 避難方法の検討 早期避難の呼びかけ 避難所の感染症対策 連絡網の作成 |
| | | | <p>要援護者支援</p> | <ul style="list-style-type: none"> 要援護者の把握と支援体制の構築と確認が必要 高齢者が多く緊急時の対応が難しい（自治会、務め人が多い） | <ul style="list-style-type: none"> 前もって一人暮らしの高齢者は誰が避難させるのか自治会で決めておく | <ul style="list-style-type: none"> 自主防災クラブの活動の見直しと意見交換会の開催 まち歩き等のイベント開催 |
| | | | <p>環境の課題</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地域版ハザードマップの作成及びマップを活用したまち歩き（SNSでの情報発信）を薦める必要がある | <ul style="list-style-type: none"> 子どもを含めた、まち歩き等のイベントを開催する | |
| | <p style="text-align: center;">ずっと住みつづけるための安心・安全なまちづくり</p> | <p style="text-align: center;">校区全般（その他）</p> | <p>役員の担い手（後継者）不足</p> | <ul style="list-style-type: none"> 地域の次世代の役員が決まらない 民生委員のなり手が不足している | <ul style="list-style-type: none"> 地域の次世代の担い手に対し、責任をもって地域発展のためになるような講演会等を開催する 次の役員を1年前に決めておくよう働きかける 民生委員活動の中で感じた事を含め、活動内容を紹介する機会を設ける 日頃からネットワークを広げてコミュニケーションを図る 町内全体で話し合う機会をつくる | <ul style="list-style-type: none"> （自治会連合会との連携） 地域の次世代担い手向けの講演会等の開催 民生委員活動内容紹介の機会づくり 日頃からのコミュニケーション推進 町内全体での座談会の開催 |
| | <p>地域の環境問題</p> | <ul style="list-style-type: none"> 空き家、空き地が目立つようになってきたが把握できていない ごみ出しルールを守らない人が多い 昔と違ってイノシシ等を身近に感じる | <ul style="list-style-type: none"> 地域役員で実態を把握し、情報を周知する 町内地図を作り、空き家や持ち主が不明な家をマッピングする 地区の総会時にごみ捨てマナーについて周知する 野菜や果物などを畑や家の外に出さないようチラシ等で周知する | <ul style="list-style-type: none"> 空き家、空き地の実態把握と情報周知 ごみ捨てマナーの周知 | | |
| | <p>近所づきあいの希薄化</p> | <ul style="list-style-type: none"> 昔に比べて気軽に声をかける機会が少なくなっている 若者、高齢者、障がい者が楽しく生活できる地域にするにはどうしたらよいか | <ul style="list-style-type: none"> 地区対抗グラウンドゴルフ大会等を開催し、町外移住者が話し合える機会を増やす 町内会の交流を図る 回覧板を回す時など、可能な限り声かけをすることを心がけるよう促す 近所同士で声をかけあって地域の集いの場に参加することを促す | <ul style="list-style-type: none"> 害獣対策のためのチラシ等の配布 地区対抗グラウンドゴルフ大会等の開催 校区交流会の開催 | | |